

# 平成27年度概算要求における 宇宙開発利用関係予算について (省庁別集計)

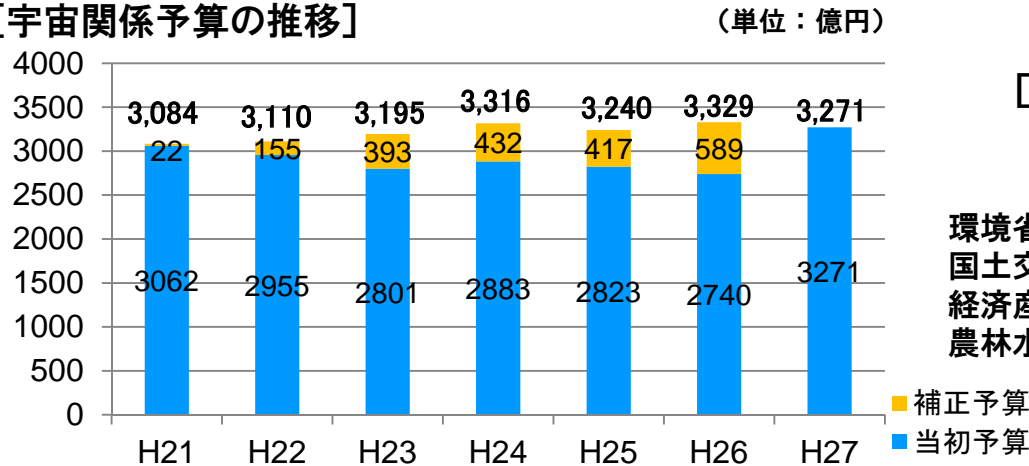
平成26年9月  
内閣府宇宙戦略室

# 1. 平成27年度概算要求における宇宙関係予算

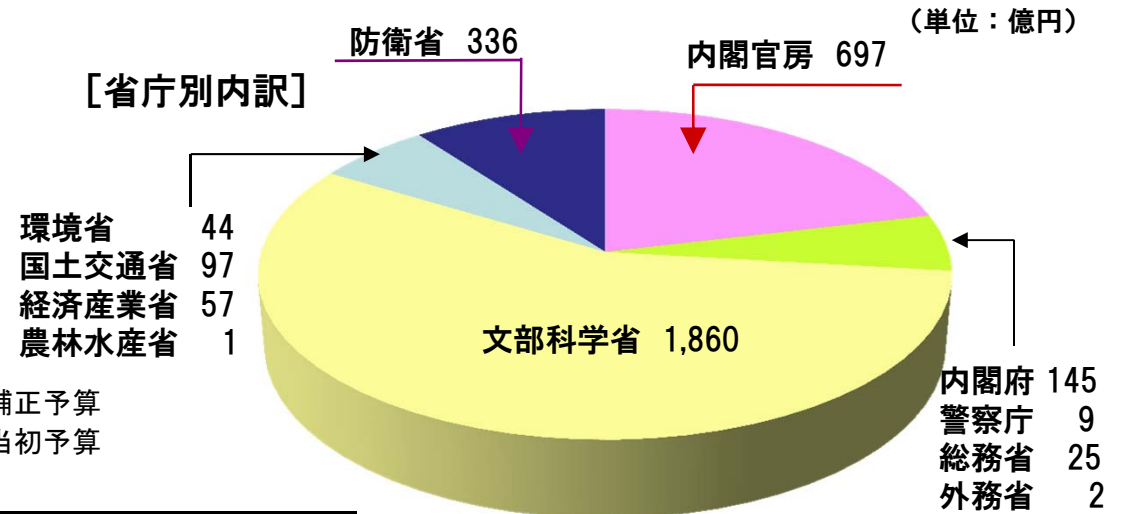
## [全府省]

平成27年度概算要求総額 **3,271億円** (対前年度当初予算比532億円増(19.4%増))  
 (要求額2,270億円、優先課題推進枠1,001億円)

## [宇宙関係予算の推移]



## [省庁別内訳]



## [内訳]

府省名	平成26年度	平成27年度			対前年度増▲減 ④-①	(増▲減比)
	当初予算額①	要求額②	優先課題推進枠③	概算要求総額 (④=②+③)		
内閣官房	610	546	151	697	87	(14.3%)
内閣府	132	123	21	145	12	(9.3%)
警察庁	8	9	0	9	1	(9.1%)
総務省	26	25	0	25	▲1	(▲2.5%)
外務省	2	2	0	2	▲0	(▲11.8%)
文部科学省	1,529	1,368	492	1,860	331	(21.6%)
農林水産省	2	1	0	1	▲1	(▲39.2%)
経済産業省	22	25	32	57	35	(160.3%)
国土交通省	95	94	3	97	2	(2.4%)
環境省	39	32	11	44	5	(12.7%)
防衛省	276	46	290	336	60	(21.7%)
合計(注1)	2,740	2,270	1,001	3,271	532	(19.4%)
参考値(注2)	3,242	2,484	1,101	3,584	343	(10.6%)

(注1) 弾道ミサイル防衛関連経費(防衛省)、航空関連経費(文部科学省)を除いている。  
 (注2) 弾道ミサイル防衛関連経費(防衛省)、航空関連経費(文部科学省)を含めた場合。

(注) 四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

# 平成27年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

## 全府省庁合計 3,271億円

<b>【内閣官房】</b>	69,702	(+8,741)	<b>【農林水産省】</b>	92	(▲59)
● 情報収集衛星関係経費	69,692	(+8,741)	○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	20	(▲5)
<b>【内閣府】</b>	14,474	(+1,227)	○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用(VMSシステムの運用)	71	(±0)
● 衛星系通信ネットワークの整備	149	(▲4)	<b>【経済産業省】</b>	5,694	(+3,506)
○ 宇宙利用拡大の調査研究	400	(+57)	● 超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNAO2)の研究開発	3,210	(+3,210)
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	13,668	(+1,169)	○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	300	(+146)
<b>【警察庁】</b>	858	(+72)	○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	638	(▲0)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用	858	(+72)	○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	915	(+246)
<b>【総務省】</b>	2,487	(▲64)	○ 太陽光発電無線送電高効率化の研究開発	250	(±0)
○ 準天頂衛星時刻管理系設備の運用	64	(▲13)	<b>【国土交通省】</b>	9,710	(+232)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	1,987	(▲14)	○ 人工衛星の測量分野への利活用	965	(+45)
○ 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	90	(▲10)	● 静止気象衛星業務等	8,450	(+36)
○ 次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	320	(▲27)	● 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	260	(新規)
<b>【外務省】</b>	158	(▲21)	<b>【環境省】</b>	4,380	(+493)
○ 衛星画像判読分析支援	144	(▲21)	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	3,196	(+221)
○ 宇宙外交推進費	14	(▲0)	● 衛星による地球環境観測経費	1,023	(+269)
<b>【文部科学省】</b>	185,952	(+33,060)	<b>【防衛省】</b>	33,629	(+5,987)
● 新型基幹ロケット	13,000	(+6,000)	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等	33,100	(+5,850)
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	2,166	(+1,597)	● 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	520	(+137)
● 先進光学衛星	5,060	(新規)			
● 光データ中継衛星	3,208	(新規)			
● 宇宙太陽光発電技術の研究	350	(+50)			
● デブリ除去システム技術実証	823	(+753)			
● X線天文衛星(ASTRO-H)	11,432	(+1,897)			
● 革新的衛星技術実証プログラム	3,000	(新規)			
● 国際宇宙ステーション関連	40,219	(+4,496)			
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	4,706	(+4,006)			
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)	5,262	(+3,844)			
● 基幹ロケットの高度化の推進	5,940	(+5,940)			

各府省庁予算の単位は百万円。( )内は対前年度当初予算比+増▲減。  
●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

## 平成27年度概算要求（優先課題推進枠）（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

### 全府省庁合計（優先課題推進枠） 1,001億円

<b>【内閣官房】</b>	15,100	<b>【経済産業省】</b>	3,210
● 情報収集衛星関係経費の一部	15,100	● 超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	3,210
<b>【内閣府】</b>	2,149	<b>【国土交通省】</b>	335
● 衛星系通信ネットワークの整備	149	● 静止気象衛星業務等の一部	75
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用の一部	2,000	● 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	260
<b>【文部科学省】</b>	49,183	<b>【環境省】</b>	1,133
● 新型基幹ロケットの一部	6,000	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等の一部	724
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)の一部	689	● 衛星による地球環境観測経費の一部	409
● 先進光学衛星	5,060	<b>【防衛省】</b>	29,013
● 光データ中継衛星	3,208	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等の一部	28,561
● 宇宙太陽光発電技術の研究の一部	50	● 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究の一部	443
● デブリ除去システム技術実証の一部	753		
● X線天文衛星(ASTRO-H)の一部	8,298		
● 革新的衛星技術実証プログラム	3,000		
● 国際宇宙ステーション関連の一部	7,762		
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の一部	3,096		
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の一部	452		
● 基幹ロケットの高度化の推進の一部	4,134		

各府省庁予算の単位は百万円。  
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

## 2. 宇宙開発利用関係予算

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (1)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (2)	優先課題推進枠 (3)	概算要求総額 (4)=(2)+(3)	増▲減額 (5)=(4)-(1)	伸率 (5)/(1)		
宇宙開発経費	273,963	227,012	100,124	327,136	53,173	19.4%		
(参考)BMD(宇宙関連)経費及び航空関連経費を含む	324,156	247,570	107,913	355,483	31,327	9.7%		
内閣官房	60,962	54,603	15,100	69,702	8,741	14.3%		
情報収集衛星関係経費	60,951	54,592	15,100	69,692	8,741	14.3%	情報収集衛星の開発・運用	
宇宙開発戦略本部事務費	11	11	0	11	0	0.1%	宇宙開発戦略本部事務局の運営に必要な経費	
内閣府	13,248	12,325	2,149	14,474	1,227	9.3%		
衛星通信回線の利用料	145	126	0	126	▲ 19	▲ 13.2%	災害発生時の官邸と現地対策本部等との通信手段としての通信衛星利用料	
衛星系通信ネットワークの整備	153	0	149	149	▲ 4	▲ 2.6%	衛星系通信ネットワークの整備	
準天頂衛星システムの開発・整備・運用	12,499	11,668	2,000	13,668	1,169	9.4%		
実用準天頂衛星運用経費	291	341	0	341	50	17.3%	衛星の運用に必要な事務費	
実用準天頂衛星開発・整備経費	9,208	11,327	0	11,327	2,119	23.0%	実用準天頂衛星追加3機分の開発費	
実用準天頂衛星打上げ経費	3,000	0	2,000	2,000	▲ 1,000	▲ 33.3%		
宇宙開発利用の推進	450	531	0	531	81	18.0%	宇宙開発利用に関する施策の推進に必要な一般事務費	
宇宙利用拡大の調査研究	93	400	0	400	307	330.7%	宇宙利用拡大を図るための施策の策定を重点的に行うため、民間事業者の能力を活用して、諸外国における宇宙政策の動向、防災対策に関するニーズ、国内での衛星データ利用拡大方策等の調査・分析	
広域災害監視衛星ネットワーク関係調査事業	250	宇宙利用拡大の調査研究に統合した	0	0	▲ 250	▲ 100.0%	防災等のためのリモートセンシング衛星の複数機の一体的な整備・運用に関し、関係行政機関や民間事業者等のユーザーニーズの抽出及びそれを満たす衛星システムの具体的仕様を検討するための調査等を実施	
宇宙開発利用政策事務費	107	131	0	131	24	22.1%	宇宙戦略室の運営等に必要な経費	

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (1)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (2)	優先課題推進枠 (3)	概算要求総額 (4)=(2)+(3)	増▲減額 (5)=(4)-(1)	伸率 (5)/(1)		
警察庁	786	858	0	858	72	9.1%		
高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	786	858	0	858	72	9.1%		
高解像度衛星画像解析システムの運用	256	256	0	256	0	0.0%	衛星画像供給業者より購入した衛星画像を解析し、警察活動に活用	
通信衛星の使用	489	556	0	556	67	13.8%	衛星情報接続サービスを利用して現場映像等を警察活動に活用	
政府間端末等の運用	41	46	0	46	5	11.2%	情報収集衛星の利用その他の手段により得られる画像分析を行うための機器・設備の保守	
総務省	2,551	2,487	0	2,487	▲ 64	▲ 2.5%		
準天頂衛星時刻管理系設備の運用	77	64	0	64	▲ 13	▲ 17.1%	研究開発を進めてきた準天頂衛星初号機「みちびき」の時刻管理系の実証運用	
宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,002	1,987	0	1,987	▲ 14	▲ 0.7%	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の宇宙通信分野の基礎的研究開発	
海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	100	90	0	90	▲ 10	▲ 10.0%	海洋資源の調査を効率化するため、通信衛星を活用して洋上のブロードバンド環境(10Mbps級)を構築するための次世代通信衛星技術の研究開発を実施	
次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	347	320	0	320	▲ 27	▲ 7.7%	宇宙環境下でのアンテナの変形に伴う地上ビームの変形を補正し、効率的なビーム形状を安定的に保持する技術を確立することにより、周波数の有効利用に資する研究開発を実施	
全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8	8	0	8	0	0.0%	全国瞬時警報システムの情報伝達において衛星回線を利用	
地域衛星通信ネットワークの利用	18	18	0	18	0	0.0%	災害時に国と地方公共団体及び地方公共団体間を結ぶ通信ネットワーク	
外務省	179	158	0	158	▲ 21	▲ 11.8%		
衛星画像判読分析支援	164	144	0	144	▲ 21	▲ 12.6%	衛星画像情報を活用するための設備・機材の調達・保守、及び関連データ収集等	
宇宙外交推進費	15	14	0	14	▲ 0	▲ 3.4%	「宇宙外交」を推進するための会議費及び旅費	

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (①)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)	伸率 (⑤/①)		
文部科学省	152,893	136,770	49,183	185,952	33,060	21.6%		
(参考)航空関連経費を含む	156,153	140,030	51,122	191,152	34,999	22.4%		
JAXA 運営費交付金(自己収入額控除後)	108,873	87,355	36,320	123,675	14,802	13.6%		
1. 基幹システム関連経費	23,615	23,331	6,000	29,331	5,716	24.2%		
イプシロンロケット	900	0	0	0	▲ 900	▲ 100.0%	イプシロンロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
新型基幹ロケット	7,000	7,000	6,000	13,000	6,000	85.7%	新型基幹ロケットの開発と打上げ関連設備の整備	
宇宙ステーション補給システムへの回収機能の付加(HTV-R)	46	0	0	0	▲ 46	▲ 100.0%		
基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修	200	50	0	50	▲ 150	▲ 75.0%	衛星2機をそれぞれ異なる高度の軌道(主に太陽同期軌道)に打ち上げる技術の開発	
基幹システムの維持 等	15,469	16,281	0	16,281	812	5.2%	打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境試験設備維持 等	
2. 宇宙環境利用関連経費	3,236	0	3,236	3,236	0	0.0%	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進、第2期利用に向けた実験装置開発・実験準備 等	
3. 衛星利用推進関連経費	6,295	7,511	8,957	16,468	10,173	161.6%		
次世代情報通信衛星の技術検証	43	43	0	43	0	0.0%	「災害時の通信の確保」というニーズに応える次世代情報通信衛星の技術検証	
軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS, ETS-VIII, WINDS)	1,268	1,213	0	1,213	▲ 55	▲ 4.3%	通信衛星の運用	
準天頂衛星の運用	808	808	0	808	0	0.0%	準天頂衛星初号機「みちびき」の運用	
利用推進関連設備の維持 等	3,483	3,846	0	3,846	364	10.4%	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利用促進関連経費 等	
超低高度衛星技術試験機(SLATS)	569	1,477	689	2,166	1,597	280.5%	SLATS衛星システムの開発	
赤外センサの研究	48	48	0	48	0	0.0%	「安全保障・防災」に資する、衛星に搭載する赤外線検出器の研究	
災害観測・監視システムの整備 等	78	78	0	78	0	0.0%		
先進光学衛星	0	0	5,060	5,060	5,060		広域かつ高分解能撮像が可能な光学センサを搭載した先進光学衛星の開発	
光データ中継衛星	0	0	3,208	3,208	3,208		光衛星間通信技術を用いた光データ中継衛星の開発	

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (①)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)	伸率 (⑤/①)		
4. 技術研究関連経費	9,265	9,265	803	10,068	803	8.7%		
宇宙太陽発電技術の研究	300	300	50	350	50	16.7%	宇宙太陽発電システム(SSPS)の実用化に向けた見通しをつける為の地上技術実証	
スペースデブリ対策技術の研究	298	298	0	298	0	0.0%	スペースデブリ対策技術の研究	
デブリ除去システム技術実証	70	70	753	823	753	1,075.5%	HTVに搭載してデブリ除去のキー要素技術実証を実施	
将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術)	1,069	1,069	0	1,069	0	0.0%	共通基盤技術等の研究開発	
基礎・基盤施設維持運営費	4,448	4,448	0	4,448	0	0.0%	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区	
情報システム関連	3,081	3,081	0	3,081	0	0.0%	スパコン等の維持、情報技術関連の技術開発	
5. 宇宙科学関連経費	19,433	12,212	10,531	22,744	3,311	17.0%		
水星探査機Bepi Colombo	541	285	0	285	▲ 256	▲ 47.3%	水星の内部・表層・大気・磁気圏にわたる総合的観測	
小型科学衛星2号機	2,601	2,037	2,234	4,271	1,670	64.2%	低コスト・短納期かつ科学ミッションの多様性に対応可能な小型衛星を開発	
第26号科学衛星(ASTRO-H)	9,535	3,134	8,298	11,432	1,897	19.9%	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発	
軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,568	1,568	0	1,568	0	0.0%	科学衛星や探査機等の運用	
学術研究・実験 等	3,179	3,179	0	3,179	0	0.0%		
宇宙科学施設維持	2,009	2,009	0	2,009	▲ 0	▲ 0.0%	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等	
6. 国際宇宙探査関連経費	0	335	1,740	2,075	2,075	-	国際宇宙探査に向けた技術研究や海外機関との調整等を実施	
7. 月・惑星探査関連経費	12,899	238	0	238	▲ 12,661	▲ 98.2%		
小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564	238	0	238	▲ 12,326	▲ 98.1%	はやぶさ2の開発	
月・探査ミッション研究・推進	335	0	0	0	▲ 335	▲ 100.0%		
8. 信頼性向上プログラム	5,147	5,128	2,053	7,181	2,034	39.5%	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組	
9. 産業振興・宇宙技術基盤の強化	1,120	1,120	3,000	4,120	3,000	267.8%		
産業振興基盤の強化	1,120	1,120	0	1,120	0	0.0%		
革新的衛星技術実証プログラム	0	0	3,000	3,000	3,000	-	宇宙利用・宇宙産業の抜本的拡大及びイノベーション創出のための取組	
10. 国際協力の推進	614	614	0	614	0	0.0%		
11. 事業推進関連経費	6,559	6,759	0	6,759	200	3.0%		
12. 人件費・間接経費等	20,689	20,841	0	20,841	152	0.7%	自己収入を含む	



(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (①)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)	伸率 (⑤/①)		
JAXA 補助金	42,320	48,849	12,456	61,305	18,985	44.9%		
1. 宇宙ステーション運用等	32,486	32,456	4,526	36,983	4,496	13.8%		
日本実験棟(JEM)運用等	8,989	8,959	0	8,959	▲ 30	▲ 0.3%	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進	
宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	23,497	23,497	4,526	28,023	4,526	19.3%	宇宙ステーション補給機(HTV)を年間1機打ち上げ	
2. 施設整備費	791	3,119	248	3,367	2,576	325.7%	人工衛星やロケット等の開発に必要な試験設備や打ち上げ関連設備等について、老朽化対策を含め、関連施設・設備の維持・更新等を実施	
3. 全球地球観測システム構築の推進	9,043	11,467	3,548	15,016	5,973	66.0%		
温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	699	1,609	3,096	4,706	4,006	572.8%		
気候変動観測衛星「GCOM-C」	1,418	4,810	452	5,262	3,844	271.0%	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海面色、植生、積雪分布等の連続観測	
全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)	727	0	0	0	▲ 727	▲ 100.0%		
雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/GPR)	745	144	0	144	▲ 601	▲ 80.7%	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロファイリングレーダ)と地上システムの開発	
陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	3,075	0	0	0	▲ 3,075	▲ 100.0%		
軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分)(GOSAT, GCOM-W, ALOS, ALOS-2, GPM/DPR)	2,379	4,905	0	4,905	2,526	106.2%	地球観測衛星の運用	
4. 基幹ロケット高度化の推進	0	1,806	4,134	5,940	5,940	-		
基幹ロケット(H-IIA)高度化	0	141	3,599	3,740	3,740	-	H-II Aロケット能力向上	
基幹ロケット(イプシロン)高度化	0	1,665	535	2,200	2,200	-	イプシロンロケット能力向上	
文部科学省 内局	1,699	566	406	972	▲ 727	▲ 42.8%		
1. 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費	426	395	406	801	375	88.0%	人工衛星利用上の各種研究開発の委託費用等	
宇宙航空科学技術推進委託費 等	415	395	303	698	283	68.2%		
宇宙状況監視に必要な経費	11	0	103	103	92	842.5%	新たなSSAシステム構築の具体化に向けた調査を内閣府、防衛省と共同で実施	
2. 宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	88	133	0	133	45	51.2%		
3. 気候変動適応戦略イニシアチブ	892	0	0	0	▲ 892	▲ 100.0%		
3. 最先端超小型衛星の研究開発	256	0	0	0	▲ 256	▲ 100.0%		
4. 全球地球観測システム構築推進事務	38	38	0	38	0	0.3%		

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (①)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)	伸率 (⑤/①)		
農林水産省	151	92	0	92	▲ 59	▲ 39.2%		
農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	25	20	0	20	▲ 5	▲ 20.2%		
被災地域の農作物等復興状況の把握	25	20	0	20	▲ 5	▲ 20.2%	東日本大震災被災地域における農作物の作付状況の把握	
農林水産施策における衛星測位技術の活用	125	71	0	71	▲ 54	▲ 43.0%		
操業管理適正化	54	0	0	0	▲ 54	▲ 100.0%	漁船の位置等を衛星船位測定送信機を介して自動的に取得するシステム(VMS)を構築、運用	
VMSシステムの運用	71	71	0	71	0	0.0%	効果的な取締体制構築のため、違反操業を識別するVMSの保守・運用費等	
経済産業省	2,188	2,484	3,210	5,694	3,506	160.3%		
超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	0	0	3,210	3,210	3,210	-	低価格・高性能の小型レーダ衛星の研究開発	
宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	154	300	0	300	146	95.2%	民生部品・民生技術の宇宙転用	
石油資源遠隔探知技術の研究開発	638	638	0	638	▲ 0	▲ 0.0%	地球観測センサASTER、PALSARを用いて石油資源遠隔探知技術の確立、向上	
極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	70	70	0	70	0	0.0%	地球観測センサASTER、PALSARの校正	
ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	669	915	0	915	246	36.9%	ハイパースペクトル及びマルチスペクトルセンサの開発	
次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	408	311	0	311	▲ 96	▲ 23.6%	ハイパースペクトルセンサからのデータの解析技術の確立	
太陽光発電無線送電高効率化の研究開発	250	250	0	250	0	0.0%	宇宙太陽光発電システムの無線送電技術の研究開発	
国土交通省	9,478	9,374	335	9,710	232	2.4%		
人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	833	874	0	874	41	4.9%	電子基準点のマルチGNSS化・中央局の機器整備	
人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	87	91	0	91	5	5.3%	地球地図データの整備	
マルチGNSSによる高精度測位技術の開発	114	0	0	0	▲ 114	▲ 100.0%	マルチGNSSを統合的に利用して測量等を行う技術の開発及び標準化	
3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	0	95百万円の内数	0	95百万円の内数			衛星測位の精度に悪影響を与えるマルチパスを軽減する技術開発	
高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	0	0	260	260	260	-	空間情報インフラの整備・活用実証の実施	
静止気象衛星業務等	8,414	8,374	75	8,450	36	0.4%	ひまわり6号・7号の運営、ひまわり8号・9号の整備	
交通分野における高度な制御・管理システムの技術開発	29	0	0	0	▲ 29	▲ 100.0%	鉄道・自動車等の輸送モード間で応用・共通化を図るための技術的検討	
高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	0	34	0	34	34	-	高精度の位置測位技術を活用した車載器を開発し、得られた位置情報をリアルタイムで交通利用者、交通事業者間で共有するための技術的要件の整理	

(単位)

府省名 施策名	26年度 当初予算 (①)	平成27年度			対前年度		施策の説明	備考
		要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)	伸率 (⑤/①)		
環境省	3,887	3,247	1,133	4,380	493	12.7%		
いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	2,975	2,473	724	3,196	221	7.4%	「いぶき」(GOSAT)シリーズ化	
いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	724	0	724	724	0	0.0%	いぶき後継機開発及び並行して実施している地上の観測体制強化等	
温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業	112	103	0	103	▲ 9	▲ 8.3%	「いぶき」現行機による地球環境観測事業(観測データの品質管理を目的とした検証等を実施)	
二国間クレジット制度(JCM)推進のためのMRV等関連する技術高度化事業	2,139	2,370	0	2,370	231	10.8%	「いぶき」後継機のセンサ・地球観測地上設備等開発	
衛星による地球環境観測経費	754	614	409	1,023	269	35.7%	GOSATのデータ研究・解析費用	
アジア地域渡り鳥等国际共同研究推進	9	9	0	9	0	2.4%	アホウドリに発信器を装着し、人工衛星を用いたアルゴシステムにより、巣立ち後の行動圏の比較・解明等を渡り鳥の飛来経路を衛星追跡により解明する。	
渡り鳥の飛来経路の解明事業	18	18	0	18	0	0.0%		
希少野生動物野生順化特別事業	96	106	0	106	10	10.7%	GPSアルゴシステムにより放鳥個体の確実なモニタリングを実施	
海洋環境モニタリング多様化推進事業	8	2	0	2	▲ 7	▲ 80.6%	油流出事故が発生した際の衛星を利用したモニタリングの実施	
北西太平洋地域海行動計画推進費	27	25	0	25	▲ 1	▲ 5.1%	人工衛星を利用した海洋環境モニタリングシステム「環日本海海洋環境ウォッチシステム」の整備・維持運営・改善	
防衛省	27,642	4,616	29,013	33,629	5,987	21.7%		
(参考)弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)含む	74,576	21,914	34,863	56,777	▲ 17,798	▲ 23.9%		
衛星通信、商用画像衛星の利用等	27,250	4,539	28,561	33,100	5,850	21.5%		
Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	20,022	4,539	20,440	24,980	4,957	24.8%	通信衛星利用料	
商用画像衛星の利用	7,218	0	8,110	8,110	892	12.4%	商用画像衛星利用料	
気象衛星情報の利用	9	0	10	10	1	7.4%		
宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	383	77	443	520	137	35.8%	衛星を含めた将来装備システムの実験等	
米空軍宇宙基礎課程	9	0	9	9	▲ 0	▲ 4.2%	課程への派遣	